

Online Global Mindset Program
募集要項(2022年度春休み)

1 プログラム内容

本プログラムは、COIL(Collaborative Online International Learning)という教育手法を用いて、日本にいながらにしてオンラインで世界各国の学生と繋がり、英語を共通言語として学んでいくプロジェクト型学習プログラムです。

コース概要	<p>たった15日間で、世界で活躍できる自分に一歩近づくチャンス！君はこの春、なりたい自分にどれだけ近づけるか？</p> <p>本プログラムはアメリカ、ミシガン州立大学(MSU)と連携したオンライン型留学プログラムです。日本にいながら、グローバルな視点と異文化理解能力を育むことを目的としています。各セッションでは毎回異なるゲストスピーカーを迎え、国際ビジネスや海外での就職や学び、時事問題などのトピックを取り上げます。</p> <p>また英語力の向上にも焦点をあて、スピーキングにおけるコツやスピーチ、プレゼンのスキルアップも目標にします。MSUの学生との交流の時間も設けられ、より実践的に英語でのコミュニケーションスキルを身につけることができます。</p> <p>この15日間のプログラムでは、実際に英語で学習し、英語で講師や海外学生と交流しながら、異文化理解や国際的な視野を身に着けることが実現できます。</p>		
応募要件 外国語要件	<p>CEFR B2程度(GTEC 215+, TOEFL ITP 450+, TOEFL iBT 45+, TOEIC 440+)</p> <p>4技能(聞く・読む・話す・書く)について、総合的なレベルがあることが望ましい。</p> <p>聞く:長い話や複雑な議論の流れを理解することができる。</p> <p>読む:何度か読み返せば、自分の専門分野の文章や説明書などを、詳細に理解することができる。</p> <p>やりとり:母語話者同士の議論に参加できないこともあるが、自分が学んだ内容や自分の興味や経験の範囲内の内容なら、抽象的な話題であっても、議論できる。</p> <p>発表:関心のある分野の話題であれば、論拠を並べ自分の主張を明確に述べるができる。</p> <p>書く:知識のある話題についてなら、多くの情報源から情報や議論を整理し、それに対する自分の考えの根拠を示しつつ、ある程度のまとまりのあるレポートなどを書くことができる。</p>		
対象	学部生、院生	担任者	国際部 専任教員および教育推進部特任教員
参加費	2万円	募集人数	10 - 18名
活動期間	<p>事前研修:2023年2月6日(月)~2月10日(金)</p> <p>プログラム:2023年2月13日(月)~3月3日(金)</p> <p>事後研修:2023年3月3日(金)~3月10日(金)</p>		

活動日程	<p>事前研修: 2023年2月6日(月)～2月10日(金) メインプログラム前にオリエンテーション実施 2月6日(金)AM 10:00-11:00 2月6日～10日のうち1日間 日時未定(午前中)MSU学生とのConversation Hour ※ライブとオンデマンドのハイブリッド形式、その他課題あり(詳細は下記参照)</p> <p>メインプログラム: 2月13日(月)～3月3日(金) ※各回のライブ講義後にチームや個人でのタスクやグループワーク等があります。 目安として、1日5時間程度の活動量です。</p> <p>【Day 1】2月13日(月)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Orientation オリエンテーション - Cross-Cultural Communication 異文化間コミュニケーション</p> <p>【Day 2】2月14日(火)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Current Events 時事問題について - Guest Presenter</p> <p>【Day 3】2月15日(水)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Conversation Hour ※ミシガン州立大学の学生と英語で話す時間となります。現地の学生とヴァーチャルに交流する時間です。 - Current Events 時事問題について</p> <p>【Day 4】2月16日(木)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Current Events 時事問題について - Guest Presenter</p> <p>【Day 5】2月17日(金)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Cross-Cultural Communication 異文化間コミュニケーション</p> <p>【Day 6】2月20日(月)ライブ講義 ※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Current Events 時事問題について</p> <p>【Day 7】2月21日(火)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Cross-Cultural Communication 異文化間コミュニケーション - Guest Presenter</p> <p>【Day 8】2月22日(水)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Conversation Hour - Current Events 時事問題について</p> <p>【Day 9】2月23日(木)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Cross-Cultural Communication 異文化間コミュニケーション - Guest Presenter</p> <p>【Day 10】2月24日(金)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Cross-Cultural Communication 異文化間コミュニケーション</p>
------	--

	<p>【Day 11】2月27日(月)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Current Events 時事問題について</p> <p>【Day 12】2月28日(火)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Cross-Cultural Communication 異文化間コミュニケーション - Guest Presenter</p> <p>【Day 13】3月1日(水)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Conversation Hour - Current Events 時事問題について</p> <p>【Day 14】3月2日(木)※ライブ講義 8時30分～10時(日本時間) テーマ: Cross-Cultural Communication 異文化間コミュニケーション - 最終プレゼンテーションの練習</p> <p>【Day 15】3月3日(金)※ライブ発表会 8時30分～10時(日本時間) 最終プレゼンテーション</p> <p>事後研修: 2023年3月3日(金)～3月10日(金)</p> <p>メインプログラム前にオリエンテーション実施予定 ※詳細は下記「2 事前・事後研修」を参照</p> <p>※ライブとオンデマンドのハイブリッド形式、その他課題あり(詳細は下記参照)</p>
共催	ミシガン州立大学

2 事前・事後研修


参加決定者は、以下のとおり事前研修・事後研修があります。研修期間中に受験していただく2種類の試験では、英語力と心理面における国際交流の効果を図ります。※両試験の結果は受験者が確認できるようになっています。

1. 全ての手続きおよび課題等の提出物を定められた期日を守って提出／受験してください。
2. やむを得ない事情(授業との重複等)により研修に参加できない場合は、必ず事前に申し出たうえで、プログラム担当者または国際部からの指示に従ってください。
3. 本プログラム参加準備に対して積極的かつ誠実な対応で臨むよう努めてください。

事前研修 【必須】	2023年2月6日(月)～2月10日(金) オリエンテーション 2月6日(金)AM 10:00-11:00 事前課題(オンデマンド) <ul style="list-style-type: none"> ● BEVIテスト(プログラム前)受験 ● 英語能力テストVersant(プログラム前)受験 ● その他課題
事後研修 【必須】	2023年3月3日(金)～3月10日(金) 事後課題 <ul style="list-style-type: none"> ● BEVIテスト(プログラム後)受験 ● 英語能力テストVersant(プログラム後)受験 ● その他課題 ● 事後アンケート

※BEVIは、国際交流の効果を測定するアセスメントツールです。
 ※Versantは、言語能力を客観的に測定できる英語コミュニケーションテストです。

3 応募～参加者決定までの流れ

申込方法	<p>オンラインフォーム (URL: bit.ly/MSU-apply) または右記QRコードより必要事項を記入の上、提出してください。 (ログインの際は、アカウントに「k*****@kansai-u.ac.jp」、 k*****及びパスワードはインフォメーションシステムと 同じものを入力します。)</p>	
募集締切	2022年12月14日(水)正午(日本時間)	
派遣決定	<p>【参加者決定方法】申請内容と対面面接による選考 【参加者決定時期】12月21日(水)</p>	

4 単位認定

すべての活動に参加した上で、プログラム内で指定された提出物を提出し、各学部において総合的に評価され認められた場合、単位認定(合格・2単位)を行います。なお、大学院及び今学期卒業見込みの学部生については、単位認定されません。また、学部・年次により単位認定の取扱(科目の位置づけや卒業所要単位への算入)が異なりますので、下記及びHAND BOOKを必ず確認してください。

○2020年度以前入学者

KUGF Field Study (Global Mindset Program)という科目名で単位認定を行います。
 既に、この科目で単位を修得している場合、単位認定はされません(プログラムの参加は可能です)。



○2021年度入学者

KUGF Field Study (Global Mindset Program)という科目名で、単位認定を行います。



5 お問い合わせ

国際教育支援室 / グローバル教育イノベーション推進機構 (IIGE) 事務局
iige@ml.kandai.jp

お問い合わせの際は必ず件名に【2022年度春休みOGMプログラム】と明記してください。